慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	英国の財政難；エリオット総長と旭日章；英国下院の歳費案可決；統監交迭の内議；勃牙利の独立承認；アタナの大虐殺；商大問題；瀆職代議士の続出
Sub Title	
Author	高橋, 誠一郎
Publisher	三田学会
Publication year	1909
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.1, No.5 (1909. 6) ,p.613(71)- 622(80)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	時評
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19090601-0071

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

別したれども、之を以て最惠國條款中條件を云々する條款は、一般的條款に限るものと誤解す可からず。固より我國と諸外國との條約中には、一般的條款以外、即ち特別的條款中には絶へて之を見當らざれども、外國間の條約中には、其例必ずしも乏しからず。例へば英國と墨西哥との間の現行通商航海條約第二條には、我日英條約第十五條と殆と同文の一般的最惠國條款を規定する上に、更に其第四條に於て、船舶貨物の取扱に關し相互に最惠國の待遇を與ふ可き特別的最惠國條款を設けたる其末項に、

兩締盟國ノ一方ヨリ第三國ニ許與スヘキ是等事項ニ關スル一切ノ殊遇若ハ免除若ハ其他航海ニ關スル一切ノ特典ハ即時且條件ヲ附セスシテ他方ニ許與セラルヘシ

と附記して、條件を附せざる旨を明にしたるは、即ち特別的條款中にも、亦條件のことを規定するものあるの一例なり。故に余が爰に一般的條款のみを右三種に區別したるは、聊か不當の譏を免がれざる如くなれども、余は唯だ我現行の通商に準據して、姑く此分類法を用ゆるのみ。

時評

○英國の財政難

高橋誠一郎

實つた果實には必ず蟲が著く。資本主義の上に築かれた現今の社會も終に社會主義と謂ふ恐しい蟲の餌食とならんとしてゐる。「お前の眼にはお前の商買が繁昌する樣に市場も堅實であると見えるであろう、然し吾國の革命的運動は日々其勢を逞うしつゝあるではないか、氣を著け給へ、蟲は果實の内に發生した、軈て破裂の時機が到來するであろう。」とエミール、ゾラはモーゼルの口を借りてナポレオン三世全盛時代の佛蘭西を戒めてゐる。今日に於ては佛蘭西を首として大陸の社會主義は殆ど其發達の頂點を越して此後の大發展を豫想することは出來ぬ。蟲は海峽を渡つた。これから社會主義との苦鬪に入らんとするものは英國である。

一千九百年の總選擧に際して僅に二名の當選者を出すに過ぎなかつた英國勞働黨は一千九百〇六年の總選擧には一躍三十名の多數を出すに至つた。蓋し一千九百〇三年に八十一名の多數を出すに至つた。一千九百〇七年に俄に四十三名に降つた獨逸の社會民主黨と好個のコンツラストをなしてゐる。然も英國社會主義の危險は自ら勞働黨と稱し、或は自ら社會主義を標榜して立つ人々の增加に在るのではなくて、社會主義を非難し攻擊し其撲滅を希望し企圖しつゝある人々の間に其敎化弘布の力を有するの點に在るのである。彼等は尙は依然として非社會主義を唱道しつゝある間に其言動は何時とはなしに社會主義の理論にかぶれて行く。社會主義を攻擊する其論據は反つて社會主義的となつてゐる。社會主義の發達に對して防戰す可き最も堅固なる城堡は下層中產階級である。社會主義者の或者は切りに蟷螂の斧を以て此龍車を破壞せんと試むるのである、英國の社會主義者、殊にフェビアン、ソサエチーの一派の如きは斯くの如き拙劣

を敢てせぬ、彼等は巧妙なる言辭を弄して、彼等が勞働者階級と其利害を共にしつゝあるを說き、鋭意彼等を改宗せしめんと企てゝ居る。自由農民を有せざる英國にして其唯一の城堡たる下層中產階級の人民が社會主義に對して白旗を揭げた時は、正に一大事の秋に逢着したものと謂はざるを得ない。

自由黨は勞働黨の力を借りて統一黨を倒した。此後同黨が長く其勢力を失墜せざらんことを期するには、勞働黨と恒に手を携え步調を共にしなければならぬ。自由黨は汲々として勞働黨の甘心を買はんことを是努めてゐる。社會主義的の臭味を帶べる法案の議會を通過すること益々多からんとするは是が爲めである。國家社會に對して貢獻する所多き有爲なる人々の所得を奪つて、國家社會の厄介物無能無爲の長物を養はんとするの傾向は著しく其勢を增加して來た。英國近時の財政難は蓋し玆に基因する所頗る大なりと謂ふ可きである。新年度に於ける豫算の不足を補はんが爲めに大藏尙書ロイドヂョーヂ氏は一千五百七十六萬二千磅を議會に要求した。而して其四分の三は養老年金の增加に基くものなりと傳へられてゐる。是實に自由黨が勞働黨と手を携へて政權に近ける必然の結果である。否。英國人士の頭腦に知らず〳〵社會主義の理論の浸潤した必然の結果である。

支出增加の第二は二百八十二萬磅の製艦費である。英國に於ける海軍擴張熱亢進の直接原因は獨逸の刺激に在ること勿論である。然も其根底には食料品一切の供給を外國に仰ぎつゝある英國が、有力なる海軍國との開戰の結果として其糧道を絕たれたる後の慘憺たる光景を想ふの情が潛んでゐる。政治的社會的の革命には必ず飢饉が其大原因の一をなして居る。無資無產の貧民階級が富裕なる市民階級に向つて突進するのは此時である。倫敦は當に往昔の巴里たらんとすとの憂苦が各人の胸裡に在るからである。

而して英國政府が此不足塡補の財源として選んだ所のものは主として富裕なる中產以上の市民階級の負擔に歸す可きものである。所得稅、相續稅及び地租の增徵と云ひ、倶樂部稅、自働車稅、酒造稅、酒場免許稅の新設增徵と云ふが如き皆然りである。

社會主義の目的は土地と生產資本を一般人民の手に移すにあり、而して此目的を達するの途は二つである。一は市有及び國有であつて他は課稅である。社會主義者の眼に映ずる租稅は單に富者と中產階級を貧窮ならしむる手段に過ぎぬ。彼等は只管富者をして貧ならしむるは貧者をして富ましむる所以なりと信じ、租稅の力を借りて富を少數の手より奪つて多數に分たんことを欲して居る。かるが故に彼徒は國家並に地方の經費を節約せんことを望まない。彼等は反つて可成的經費の增加せんことを願つてゐる、スノードンは明に「國稅の增加は社會主義者の毫も憂慮す可きことに非ず」と唱へて居る。彼等に取つては最多額の經費を支出するものは最良の政府である。英國多數の人士は元より這般の妄想を有するものでない。彼等は租稅に關する別個の學說を有してゐる。彼等は課稅の標準を負擔の公平に置き限界的犧牲の等一に置き、自己が某種の課稅を主張するは純然たる財政上の目的に據るものにして、決して社會上の理由に基くものにあらずと信じながら、彼等は次第々々に社會主義者の主張に一致しつゝあるのである。人はフェビヤン、ソサエチーの國稅改革私案を嗤笑を以て迎へてゐるが、然も彼等が年々贊同し通過せしむる豫算案は步一步是に向つて近きつゝあるものである。

此後と雖も英國の歲計は多々益々膨脹し、屢々財政難を訴ふるに至る可きである。而して此難關に處し之が整理を計らんとするには必ず白羽の矢を富者の財囊に立てねばならぬ。斯くて富豪の汗に衣食する無資無產の徒は愈々其數を增加するに至るのである。英國を以て社會主義的革命を實行す可き理想的の條件を具備せるものなりとなしたカール、マルクスの意見は漸次、社會主義は英國の

如き自由なる民主政體の下に在つては全然發生し得られぬものであると云ふ多數英國民の自負自信を破つて行く、然もマルクスの所謂社會主義的革命は終に改革とか革命といふ名を與へられずして其效果を收めて行くことと想ふ。彼のジャン、ジオレーが「此等の改革は實つた木の實が長閑な秋の日の靜けさを破ることなくして地に落つるが如くに、毫も國民の平靜なる生活を煩すことがないであろう。人道は恰も地球が吾人を載せて星滿々たる大空に無音の運動を以て昇り行くが如く無意無識の間に自ら同胞的の正道に進むであらう。」と言つた如く、社會主義は靜肅に何等の爭論なく其勢力を扶殖し其主張を實現せしめつゝあるのである。

○エリオット總長と旭日章

前ハアヴアド大學總長チャルス、ダブルユー、エリオット氏の辭任式は今回ケンブリッジに擧行せられて非常なる盛況であつたが、吾が駐米大使高平氏は天皇陛下より特に氏の大學敎育並に日本留學生の爲めに盡されたる功績を思召されて授けられたる旭、日章を贈り以て當日の辭任式に更に一段の光榮を添へたとのことである。

ハアヴアド大學は其記錄中に一千六百三十五年以來總長の職に坐せるもの二十三名を揭げてゐるが、然も未だエリオット氏の如く其在職の年限長く、加ふるに其在職中重要なる事項の發生を見たものはない。ハアヴアド大學が米國敎育史上に陸離たる光彩を放つに至つたのは、洵にエリオット氏の總長時代に始まつたものである。卽ち一言にして盡せば、氏の在職中に始めてハアヴアド、カレージがハアヴアド、ユニヴアシチーたるの實質を具ふるに至つたのである。

曾つて國家的の大事業に敏腕を振つた世界的人物を推して大學總長たらしむること固より可なりであるが、然も大學其物に取つては反つて敎育家の責任及び敎育事業の困難を熟知し敎室內の事務に經驗を有する人物を擧げて總長となすの勝れる

を覺ゆるのである。ジョシア、クインシイ、ジョン、クインシイ、アダムス及びジエムス、マジソンの如き偉材を大學總長として有するは蓋し其大學の誇りとする所であろうが、彼等大人物の施設する所敎育事業の細目に關して充分なる經驗なく知識なきが爲めに往々にして幾多の困難を惹起するの因となるのである。エリオット氏が總長の椅子に着いたのは卒業後、僅に十六年素より赫々たる盛名はないが、其十六年間彼は一日も敎育事業を離れたことなく、之に關する細大の經驗を悉く嘗め盡したのである。此經驗こそ實に後年の施設畫策に對して貢獻する所多大なりしものである。古來ハアヴアド大學を嘲笑してボストン上流社會の子弟を薰育す可き高等學校であるとなす者があるが、固より取るに足らぬ虛妄の所言であつて、現今同大學の生徒名簿に名を列するもの四千人、管に米國各州の靑年を包羅せるのみならず、世界各州より笈を負ふて來り學ぶもの亦少なくない。吾が慶應義塾の如き間接に同大學並にエリオット敎授に負ふ所頗る多大である。吾人は吾が皇室が遙に氏の功勞を嘉賞せられて今回授勳の御沙汰ありしことを深く喜ぶものである。

○英國下院の歲費案可決

英國下院は此回九十二に對する二百四十二票の大多數を以て三百磅の歲費を支給するの決議案を可決し、政府は直ちに之に同意を表したと云ふことである。蓋し之れ亦同國下院に下層社會の代表者が次第に其勢力を增加しつゝある一證左と見ることを得可きものである。

「今や各議員をして其下院內に於ける勤務に對して報償を受理せしむ可き時期は到來した、何となれば國民は一般に自己の經費を自ら支出し得る資產あり地位ある人士のみに依つて適當に其輿論を代表せしめ得ること能はざるを信ずるに至つたからである」と絕叫した「改革家年報」の所言今更ならながら思ひ當るのである。英國下院議員がデヴイドソンの所謂正當の「勞銀」を支給せらるゝ日の

到來するのも極めて近い將來であろうと思ふ。これ實に其形式に於ては英國憲法上の舊慣に歸るものであるが、實際上に於ては貧民專制の新傾向に伴ふものである。次で議會に表る可きは恐らく選擧費を地方稅より支給するの案であろう。

○統監更迭の內議

北韓に暴徒蜂起して勢猖獗を極めつゝある一方に伊藤統監辭任の風評は愈々實際とならんとして居る。後任は曾根副統監とか、多分はこれも誤りなき所であろう。統監政治の失敗は近來益々世上に暴露せんとしてゐる。韓民に對する威信も次第に薄らぎ行く傾きがある。伊藤公は既に過去の人物である。光輝ある歷史を荷ふて陰暗たる將來に向つて進みつゝあるものである。彼をして今日尙ほ活動せしむるものは殆ど誇大狂に近き自負心とブランデーの力とである。統監府は小才子と似而非豪傑との巢窟である、眞に帝國と韓民との爲めに計るの誠意なく、常に誇大狂の統監を圍繞して、相共にブランデーの醉心地に高談放語を恣にするのみである。韓國の施政が日一日と施廢し行くのは正に當然のことと言はざるを得ない。

伊藤公は明治の政治家中最も愛す可き老爺である。何處までも磊々落々として山縣公の如く毫も陰忍なる所がない。七十の老政治家たる彼は未だ稚氣を脫することを得ないのである。此子供らしい爲政振りが終に韓國に於ける其施設をして所謂虛飾政治たらしめたのである。彼が得々として自己の手腕の巧妙を誇りつゝある間に裏面に大穴が開いてゐるのに心着かぬのである。殊に韓國民の如き反覆常なきものに對せしむるに於て此缺點は彌よ大となるのである。

吾人は公の後任として曾根子が如何に此缺點を補ひ得るかを見んとするものである。

○勃牙利の獨立承認

オットマン土耳古帝國、名前は如何にも立派だが隨分と厄介な國格である。同帝國の歐羅巴に屬

する部分は中古以來長く風俗言語國情を異にし來つた幾多の人民を包含して居る。此等の人民は孰れも曾ては個々別々の國民として久しく其獨立の組織を保つて居つたものである。十五世紀に於ける土耳古の征服は悉く此等のものを鵜飲みにして了つた。而して此を消化し盡す胃腑の力を缺いて居つた。純粹の土耳古民族は此宏大なる帝國中唯だコンスタンチノープル附近の地方、ルーメリヤに移住したのみである。國民主義の巨濤が澎湃として押寄せて來た十九世紀以降、殊に此老大國の痼疾が愈よ膏肓に入つたと見てとつた時、未だ成佛しきらぬ亡者共が腹の彼方此方に騷ぎ出したのも蓋し偶然ではないのである。

土耳古の呑噬に遭つた基督敎國民中最も長く悲慘なる運命の下に泣いたものは勃牙利である。グラッドストーンの所謂ブルガリアン、アトローシチースの記憶は今も尙は歐洲人が戰慄を以て呼び起す所のものである。同國は今や英露の深厚なる援助を得て、列强の爲めに其獨立を承認せられ、フエルジナンド大公は始めて王號を取るに至つた。希臘、ルーマニア、セルヴィア、及びモンテネグロの國民的運動の成功に垂涎せる勃牙利も玆に始めて名實共に全き獨立を得て、自由の民たるを得たのである。

然も勃牙利が果して今日の境界を以て長く滿足す可きものなるやは頗る疑問である。彼の一千八百七十八年三月三日のサン、ステファノ媾和條約第六條に依つて規定せられた廣大なる勃牙利國の建立は彼等が白日の見果てぬ夢として其記憶に殘つて居る。東はボスフォラス海峽を去る六十哩なるミヂアより西アンドリノープルの北に至り、南折してエージアン海よりケルニースに及び、アルバニアに沿ふてセルヴィアに達する歐羅巴土耳古の大半を占むる大境域は假令一轉瞬の間たりとも露國の勢力の下に實現せられんとするの希望を有してゐた。伯林會議に於て切斷せられた大勃牙利の三片の一たる彼のマセドニアは將來土勃間に國際問題を生ずるの因となりはしまいか。而して再

び列國の力を要するに至りはしまいか。五割の勃牙利人、二割の土耳古人、殘る三割のセルヴィサ、希臘、ワラチカ、アルバニアの諸民族より成るマセドニヤ州は將來如何の運命を有す可きものであろうか。

○アダナの大虐殺

怜悧と臆病と殘忍と狡獪との結晶體なる土帝アブダル、ハミッドは廢位せられてサロニカに送られ、皇弟レシャッド、エフェンド青年土耳古黨の爲めに擁立せられてムハメッド五世として卽位し、土國憲政の前途に多少の光明を見んとするに際し、又々アルメニア人虐殺の兇報傳へられて再び世界の耳目を聳動せしめたのは遺憾のことである。

外電の所報に據れば幾千のアルメニア人は生きながら燒殺され基督敎徒の死者五萬に達すと謂ふことである。然しながら古來虐殺の報道程誇張せらるゝものはない。彼の一千八百七十七年の勃牙利の虐殺の如きも米國領事は其被害を報じて破壞せられたる村落一百、屠殺せられた人民二萬五千乃至四萬、强奪せられたる婦人一萬五千と稱して居るが、英國領事は被害村數六十八、虐殺せられたる人民は一萬二千乃至一萬五千と報じて居る。此回の在ミルシナのデーリー、メール通信員の所報も往年のデーリー、ニュースのマックガーン氏の通信の如く非常なる誇張を以て報ぜられて居ることと思ふ。

然も其程度は暫く疑問に附するも、虐殺の事實は決して蔽ふことを得ぬ。土耳古憲政の前途、青年土耳古黨の運命は尙ほ未だ險惡たるを免れぬ。憲政黨は如何に此頑迷固陋の亞細亞土耳古民を指導し敎化し行かんとするか。

○商大問題

自分の手で播いた種の收穫を他人の手に奪はれた程、馬鹿々々しいものはあるまい。商業大學の議が漸く熟して遂に其設立を見るに至つた。商業

大學の種を播たものは高等商業學校である。而してこれを收め得たものは帝國大學である。高等商業の學生が激憤して其解散を決議したのも無理のないことである。

從來經濟學の研究に於ては高等商業學校は少くとも帝國大學の經濟科よりは優つて居つた。商科大學なるものを設立するの必要ありや否やは頗る疑問であるが、然も若しこれを設立す可しとしたならば商業敎育に對し多年の歷史を有する高等商業學校の課程を進めて之に充つ可きものなりとは何人も疑はなかつた所である。帝國大學は造られた學校である。高等商業學校は生れた學校である。帝國大學の卒業生が孰れも實際社會に活用す可らざる土偶なりしに反して、高等商業學校は多年官學として國庫の支給を受けて居つた割合には多數の有用の材を社會に供給することを得たのは全く其私學としての創立に負ふものである。然るに吾が文部省が大學出身の土偶を無數に官界に供給して尙ほ厭らず、更に他の適當なるものを排して大學をして此土偶製造の業を擴張し之を實業界にも供給せしめんとするは誠に沙汰の限りである。天地間に火の有らん限り水の入用なるが如く、國家社會の利益如何を慮らずして、只管自己の便宜に從つて事を斷ぜんとする政府當局者ある以上は必ず抵抗の精神を有せなければならぬ。吾人は多年官界の管理を受けて獨立自由の精神麻痺したものと考へて居つた高等商業に此抵抗の念の意外に强大であるを見て窃に喜ぶものである。

文部省の俗吏は何時まで學制統一の淺墓な夢を見てゐるのであろうか。彼等は國家有用の青年を悉く帝國大學の網に捕へて、之に機械的の敎育を施し、四角の帽子丸き眼鏡、顏は青く、眼は赤く、黃色の臭を吐いて、營々試驗の爲めにノートを繰返し、一點一分を爭ふて學級の上位を占むるにのみ焦慮せしむるのである。斯くて彼等は漸次本來の人間を失つて機關と化して行く。實際社會は此氣位の高い無用の機械に對して次第に其用途を減

せて行く。大學卒業生は癒て卒業證書を抱き、恩賜の時計を懷中にカチツかせながら路傍に飢ゆるの時期が到來するであろう。

○瀆職代議士の續出

砂糖戻稅法といひ、官營法といひ將た又屠場法といひ之に坐して拘引せらる代議士數名を出すに至つたのは、今更ながら吾が代議士諸氏の無節操なるに驚かざるを得ぬ。然も斯くの如く瀆職代議士を頻出するは偶々以て吾が國民一般が政治に對して冷淡であつて毫も其趣味を解して居らんことを證するものである。一般選擧人は殆ど自己の選出する代議士其人の人物性行を知らず、唯だ一時の勸說に動かされ甚しきは數片の黃白に心動きて無意義なる投票をなすのである。憲政の美果は堅實なる政治思想を有する國民を有せざる所に實る可きものでない。腐敗した選擧民の選出した代議士に淸節を期待することは到底不可能である。人は代議士の無節操を攻むる前に須く先づ國民に向つて政治思想の涵養を鼓吹す可きである。

雜錄

歐洲關稅政策の現狀

小倉和市

通商航海條約改訂の機は今や眼前に迫り、帝國が採用す可き關稅政策の根本主義に關する研究は避く可からざる緊急の問題となれり。帝國政府は此必要に應ぜんが爲め曩きに一の有力なる委員會を組織せるが民間の學者又は實際家にして此問題に關して其所見を開陳せるものも亦少なからず。此時に當り現時歐洲諸國が採用せる關稅政策の主義如何を觀察するは決して無用の業に非ざる可しと信ずるが故に予は米國評論の論評が報ずる所により左に其要領を紹介せん。

一 佛國

佛國現行の關稅法は千八百九十二年の制定に係り之を合衆國のディングレー法に比するときは其古きこと五年、制定以來年を閱すること實に十有七年の久しきに及び、關稅法の生命としては決して短命なりと云ふ可からず。故に過去十年間之が改正を要求するの聲は日に益々喧しく、今日に於ては最早一刻も其改革を躊躇す可からざるに至れり。

千八百九十二年制定の佛國關稅法は主として農民階級の利益を保護するの目的を以て制定せられたるものにして、佛國農業社會今日の隆盛は實に此保護制度の結果なりと稱せらる。近年に至る迄佛國の製造業者は唯所謂平々凡々自然の命に維れ從ふが如き狀態にありしが、今や彼等は保護の思典に浴するの正當なるを信じて之を主張するに至れり。之れ關稅法の改革を要求するの聲が主として製造業者より出つる所以にして、若し現時開會中にある佛國々會にして關稅に關する立法上の改革を行たひりとせば之れ一に產業社會の利益が勝を制したるの結果なりと斷定するも決して誤謬に非ざる可し。